

@月島きずなクリニック 未来をひらく子どもたちのための カウンセリングと代替医療

毎月第3土曜日開催

カウンセリング内容の例

- ・将来やりたいことが分からない。
- ・学校の先生や友達とうまくやっていけない。
- ・自分にはどんな才能があるのか知りたい。
- ・体がだるい、疲れやすいのを改善したい。
- ・気持ちが晴れない、やる気が出ないのを改善したい。
- ・子どもをどう育てたら良いか。
- ・子どもとどう接したら良いか。
- ・健康であるために何に気をつけるか。
- ・どうしたら幸せな人生を送れるか。
- ・どうしたら経済的な豊かさを得られるか。

- ・時間：9:00-17:00
(休憩時間：13:30-15:00)
(最終受付：16:30)
- ・1回 30分程度



メッセージ

初めまして。小林武文と申します。
きずなクリニック様には、いつも娘をはじめ親子で大変お世話になっております。
そして、きずなクリニックの先生方の子どもたちへの熱い思いに感銘を受け、
私も微力ながらお役に立てればと思い、このような機会をいただくに至りました。
患者様にとって、何か少しでも気づきにつながったり、
わずかでも心に明かりを灯すようなお話ができましたら、これに勝る喜びはありません。
絶対的な正解というものがあるわけではありませんが、気軽にお話ししながら、
お子様や親御さんにとってのベストをともに探求していけたらと思っております。
特に、これから生きる若い子たちに、自分が若いときに知っておきたかったと
思うようなことをお伝えしていければと考えています。
雑談のつもりでお気軽にご相談ください。



医師：こばやし たけふみ

1984年生まれ。私立駒場東邦中高卒業。山梨大学医学部医学科卒業。

元精神科医。現在は、資産運用会社を経営。

コンクリートむき出し、クモの巣だらけのお風呂場があるような田舎の平屋で、極貧の幼少期を過ごす。

清原和博のような父親によるスパルタ教育で、泣きながら机に向かった結果、駒場東邦に合格。

ゲームは一切禁止、テレビもNHKのみという生活へのストレス等から、友達への暴行事件で中学3年次に停学。

一浪を経て、医学部に入学するも、燃え尽き症候群で、2回の留年。大学卒業後、精神科医となるも、

メンタルを病み引退。現在は、心身の健康やパフォーマンスアップ、自己実現のための方法を、

先端医療や東洋哲学、量子力学といった観点から探究し、多くの方にアドバイスを行っている。